

## 競技注意事項

1. 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び監督会申し合わせ事項により実施する。

### 2. 招集について

(1) 招集時刻は、次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻（点呼開始時刻）	招集完了時刻（移動開始時刻）
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始40分前

(2) 選手は、招集完了時刻5分前までには選手招集所付近で待機し、競技役員の点呼を受ける。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。ただし、他競技種目に出場中の競技者は、代理人が申し出ること。

(4) 2種目同時にかねて出場する競技者は、その旨を本人または代理人が招集時に競技者係に申し出ること。

(5) リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集完了時刻の60分前までに競技者係（招集所）に提出すること。なお、オーダー用紙は招集場所で係が配付する。

(6) 招集場所は、陸上競技場スタンド下（用器具倉庫）100mスタート地点側に設置する。

### 3. 組み合わせ・走路・試技順

(1) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。

(2) トラック競技における（+）については、タイム上位を追加する。なお同タイムの場合は、抽選とする。

(3) 800m決勝は、第2コーナーまでセパレートレーンで行う。予選はオープンレーンで行う。

### 4. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

		種別	練習	試合					
走高跳	男子	共通	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cmずつ
棒高跳		共通	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以降10cmずつ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、当該審判長の判断で変更することもある。

### 5. ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			ハードル台数
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

### 6. その他

(1) 競技場は、全天候競技場であるので、スパイクシューズのピンは先のとがっていないもので、長さは走高跳で、12mm以下のものを、その他の種目は9mm以下を使用すること。

(2) 大会当日の練習は、大会役員の指示に従う。

(3) フィールド競技は招集完了後、競技場内で練習する時間を設ける。

(4) ナンバーカードは県中体連専門部より通知された番号を使用する。

(5) 競技場内には、選手以外は入らないこと。（詳細は監督会議で説明する。）

(6) 競技会終了後、閉会式を行う。

(7) 閉会式終了後、九州・全国大会の説明会を行う。（大会申込について）出場権を確保した、学校の監督（引率の先生）は必ず出席すること。